

計測展 2012
OSAKA

終了報告書

主催: 一般社団法人 日本電気計測器工業会
Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association

協力:一般社団法人 日本電気制御機器工業会

はじめに

拝啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の「計測展 2012 OSAKA」の開催に当たりましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰様をもちまして盛況裡に無事終了致しました。これもひとえに出展者各位、関係官公庁のご支援、ご協力の賜と、主催者としたしまして深く感謝しております。

ここに、本展示会の開催結果を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

今後共、関係各位の一層のご支援のほど、お願い申し上げます。

敬 具

平成25年2月

一般社団法人 日本電気計測器工業会

目 次

はじめに	1
開催概要	2
出展企業／団体一覧	3
基調講演／ラウンドテーブルセッション／特別講演／ テクニカルセミナー／JEMIMA 委員会セミナー	4 ～ 8
プロモーション活動	9
来場者アンケート結果	10 ～ 12
出展者アンケート結果	13 ～ 14

開催概要

1. 開催概要

- (1)名称・テーマ 名称：計測展2012 OSAKA
Measurement and Control Show 2012 OSAKA
テーマ：「計測と制御で創る未来の地球～スマートソサエティと安心・安全～」
- (2)会期・会場 会期：2012年10月31日(水)～11月2日(金) 3日間
開催時間：10:00～17:00
会場：グランキューブ大阪(中之島・大阪国際会議場)
- (3)主催 一般社団法人 日本電気計測器工業会(JEMIMA)
- (4)協力 一般社団法人 日本電気制御機器工業会
- (5)後援 近畿経済産業局、大阪府、大阪市、大阪商工会議所
- (6)協賛 財団法人 大阪科学技術センター、一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター、
公益社団法人 計測自動制御学会、独立行政法人 産業技術総合研究所、システム制御情報学会、
独立行政法人 製品評価技術基盤機構、一般社団法人 電子情報技術産業協会、
一般社団法人 電子情報通信学会、日本電気計器検定所、一般社団法人 日本電機工業会
- (7)入場料 1,000円(消費税込)※招待券持参者およびWebサイト事前登録者は無料
- (8)併催事業 基調講演、ラウンドテーブルセッション、特別講演、テクニカルセミナー、
JEMIMA委員会セミナー、JEMIMAステージ
- (9)実行委員会社 アズビル株式会社 神港テクノス株式会社 山里産業株式会社
アンリツ株式会社 新コスモス電機株式会社 横河電機株式会社
株式会社 岡崎製作所 タケモトデンキ株式会社
島津システムソリューションズ株式会社 株式会社 堀場製作所
- (10)運営協力会社 株式会社 ツーサム

2. 開催結果概要

- (1)展示規模 ①総数：参加63社団体・10委員会・144小間 小間数前回比 115.2%
②参加内訳 ()内は前回2010年実績

	ブース出展者 ①	小間数	セミナーのみ ②	参加社団体数 ①+②
正会員	28(18)	105(73)	7(0)	35(18)
賛助会員	5(3)	10(10)	0(0)	5(3)
会員外*トライアル3社3小間	14(13)	15(14)	0(0)	14(13)
公的機関	5(3)	8(3)	2(0)	7(3)
海外団体	2(0)	3(0)	0(0)	2(0)
委員会	6(4)	3(5)	4(3)	10(7)

*ほかに、関西20社を対象とした無料カタログ出展他への参加会員7社

- (2)併催事業規模・カンファレンス実績・聴講者数
聴講者数 カンファレンス聴講者数合計：3,431人 前回比 205.0% ()内は前回2010年実績

(聴講者内訳)	テーマ数	聴講者数	平均(1テーマ)
基調講演	3 (3)	258 (234)	86名
特別講演	2 (2)	221 (172)	110名
ラウンドテーブルセッション	1 (1)	81 (125)	81名
委員会セミナー	6 (4)	391 (266)	65名
テクニカルセミナー(会員)	53 (12)	2,464 (756)	39名
テクニカルセミナー(会員外)	10 (1)		
テクニカルセミナー(学生向け)	2 (—)	16 (—)	初企画

来場者数：10,379名

	10月31日(水) (晴 れ)	11月1日(木) (晴 れ)	11月2日(金) (晴 れ)	合 計
1)展示会場来場者登録数	1,918	2,240	2,732	6,890
2)セミナー関係受講者数	936	1,074	1,421	3,431
3)報道関係者	13	4	2	19
4)V I P・来賓	28	6	5	39
来場者数 ()内は2010年実績	2,895 (1,923)	3,324 (1,847)	4,160 (2,571)	10,379 (6,341)

出展企業／団体一覧

出展企業・団体名	ブースNo.	出展企業・団体名	ブースNo.
アズビル(株)	1	日本エマソン(株)	-
アルファ・エレクトロニクス(株)	32	(株) ピーアンドエフ	30
アンリツ(株)	2	日置電機(株)	19
(株) イシダ	-	富士電機(株)	20
岩通計測(株)	3	(株) 堀場製作所	21
ABB(株)	4	ミッシェルジャパン(株)	31
(株) エネゲート	6	メトロームジャパン(株)	37
エムティティ(株)(※PcVue Japan社との共同出展)	5	山里産業(株)	26
(株) エヌエフ回路設計ブロック	-	横河電機(株)	22
PcVue Japan社(※エムティティ(株)との共同出展)	5	横河メータ&インスツルメンツ(株)	23
エンドレスハウザージャパン(株)	7	(株) ライトストーン	38
(株) エンバイシス	33	リオン(株)	24
(株) 大手技研	34	理研計器(株)	25
(株) オーバル	54	(株) レックス	39
(株) 岡崎製作所	8	[海外]	
オムロン(株)	-	台湾区電機電子工業同業公会	40
菊水電子工業(株)	-	[トライアルブース]	
京西テクノス(株)	9	光洋電機工業(株)	43
京都EIC(株)	27	サラ(株)	41
京都電子工業(株)	-	富士工業(株)	42
クーパー・インダストリーズ・ジャパン(株)	28	[独立法人・大学・関連機関]	
(株) コアーズ	55	ISA100 Wireless Compliance Institute	44
(株) コスモス・コーポレーション	29	公益財団法人科学技術交流財団	45
神港テクノス(株)	11	公益社団法人大分県産業創造機構	-
新光電機(株)	12	一般社団法人KEC関西電子工業振興センター	48
新コスモス電機(株)	13	公益社団法人計測自動制御学会	49
島津システムソリューションズ(株)	10	一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター	-
タケモトデンキ(株)	14	日本電気計器検定所	46
(株) 田中電気研究所	35	特定非営利活動法人日本フィールドバス協会	47
(株) チノー	15	[JEMIMAコーナー]	
中央電子(株)	16	温度計測委員会	50
(株) テクニカル	56	環境計測委員会	}
東亜ディーケーケー(株)	17	校正事業推進委員会	53
東京計装(株)	18	製品安全・EMC委員会	
(株) 東芝	-	戦略的基盤技術検討委員会	
日本計器(株)	36	放射線計測委員会	[五十音順]

※「-」はテクニカルセミナーのみ参加

基調講演

10月31日(水) 11:00~12:00

会場E (1009会議室)

- K-1** テーマ：関西の産業活性化へ向けて
 講師：経済産業省 近畿経済産業局長
 小林 利典 氏

【講演要旨】

平成24年6月に産業構造審議会 新産業構造部会で発表された「経済社会ビジョン」では「成長のための成長」ではなく「豊かさを実感できる成長」への転換を提案。

本ビジョンとともに新産業創出と産業構造の転換に係る関西での新たな取り組みを紹介。

11月1日(木) 10:30~12:00

会場D (1008会議室)

- K-2** テーマ：制御系セキュリティの最新動向
 講師：技術研究組合 制御システムセキュリティセンター理事長
 電気通信大学 情報理工学研究科 教授
 新 誠一 氏

SICE共同講演

【講演要旨】

制御系におけるサイバーセキュリティが大きな問題となっている。ここでは、本年3月に設立した制御システムセキュリティセンターの設立経緯や最新動向を講演する。

11月2日(金) 11:00~12:30

会場E (1009会議室)

- K-3** テーマ：いま、何を議論すべきなのか？
 講師：21世紀政策研究所 研究主幹
 澤 昭裕 氏 氏

【講演要旨】

東日本大震災以後、日本のエネルギー政策は見直しされている。原子力や再生可能エネルギーの考え方、発送電分離の問題点、電力に最も必要な安定供給を維持しつつ、より低価格な電力を供給するための電力システム改革などについて講演する。

ラウンドテーブルセッション

11月1日(木) 13:30~15:30

会場E (1009会議室)

- R-1** テーマ：スマートソサエティの実現に向けて

現在我が国で最もホットな課題である「持続可能な成長をもたらす社会—スマートソサエティ—」の構築について、社会的効果、キーとなるテクノロジー、国際標準化などの各観点からその実現性を検証し、将来の方向性を探る。

ラウンドテーブルセッション登壇者

- 九州大学大学院 システム情報科学研究所 電気システム工学部門 教授 工学博士 合田 忠弘 氏
 - 経済産業省 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 次長 藺 利彦 氏
 - 公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 理事 プロジェクト長 工学博士 二宮 清 氏
 - 大和ハウス工業株式会社 総合技術研究所 フロンティア技術研究室 地球温暖化防止研究グループ ICT研究チーム 主任研究員 吉田 博之 氏
 - 三菱電機株式会社 電力流通プロジェクト 電力流通第一グループ グループマネージャー 工学博士 マルミローリ マルタ 氏
 - 一般社団法人 日本電気計測器工業会 エネルギー・低炭素政策委員会 委員長 石隈 徹 氏
- ファシリテータ** 一般社団法人 日本電気計測器工業会 事務局 次長 林 祐次／キャスター 平山 みゆき

特別講演

10月31日(水)

会場E [1009会議室] 13:30 ~ 15:00

S-1 新エネルギー資源の使い方
～メタンハイドレート、地熱発電、そしてストレージ～

高知県メタンハイドレート開発研究会 理事長
東京工業大学名誉教授・高知工科大学名誉教授 鈴木 朝夫 氏

日本は今、海底資源・地下資源によりエネルギー・資源大国になろうとしている。それらは、慎重に、ゆっくりと、賢く使うべきものである。経済成長のためではない。右肩下がり時代を生きて減速に必要なエネルギー源と考えるべきである。心豊かな生活のために。

会場D [1008会議室] 14:00 ~ 15:30

S-2 我が国日本に「待ったなし」の国際標準化 ～失敗と成功の体験談～ SCF共同講演

IDEC株式会社 常務執行役員
一般社団法人 日本電気制御機器工業会 副会長 藤田 俊弘 氏

国際標準化は、研究開発・事業戦略とリンクさせるべき重要な戦略であるが、我が国日本ではその位置づけがあまり高くないのが実態である。ここでは、十数年にわたる国際標準化の交渉での様々な体験と舞台裏を紹介し、オールジャパンでの推進の重要性を述べる。

11月2日(金)

会場D [1008会議室] 10:30 ~ 11:30

S-3 The Development Plan of the Low Carbon Island, Penghu

ITRI (台湾の工業技術院) Researcher Ph.D. Pei-Hao Li

台湾の工業技術院 (ITRI) では、台湾政府と協調して澎湖島 (Penghu island) において「低炭素プロジェクト」を推進している。本講演ではプロジェクトを直接推進する立場にあるLi博士から、その狙い、現在の進捗状況や問題点などを整理して紹介いただく。

会場D [1008会議室] 14:00 ~ 15:00

S-4 カーボンニュートラル
うつくしまを目指して

福島大学 共生システム理工学類 教授 佐藤 理夫 氏

福島県の豊かな再生可能エネルギー資源と、2040年には再生可能エネルギー比率100%の社会実現を目指すビジョンを紹介する。豊かなエネルギー源と小規模な消費者が混在する「田舎型システム」構築の重要性を述べる。

テクニカルセミナー

10月31日(水)

会場A [1005会議室]

T-A1 (株)イシダ
株式会社イシダにおける環境貢献商品の開発について

T-A2 (株)堀場製作所
必見！映像記録型ドライブレコーダの活用ご提案

T-A3 京都電子工業(株)
屈折率標準液と屈折計のJCSS認定校正
～屈折計の品質を国際的承認へ～

T-A4 一般社団法人 K E C 関西電子工業振興センター
太陽光発電・EV充電器及びLED照明のEMC試験

T-A5 島津システムソリューションズ(株)
METRIS-G4におけるオープンネットワーク対応の紹介

T-A6 (株)オーバル
世界最高レベルの精度と再現性！最新の液体用超音波流量計

T-A7 (株)堀場製作所
必見！知っておきたい放射線計測

T-A8 富士電機(株)
直接挿入方式レーザーガス分析計の適用例の紹介

会場B [1006会議室]

T-B1 岩通計測(株)
パワーエレクトロニクス計測

T-B2 アズビル(株)
アズビル京都におけるエネルギーの見える化と省エネ事例

T-B3 (株)堀場製作所
必見！メンテナンス性を飛躍的に向上した光学式溶存酸素計

T-B4 (株)堀場製作所
必見！下水処理の電力削減に貢献するアンモニア態窒素計

T-B5 公益社団法人 計測自動制御学会
SICE City - 生きがいを育むコミュニティを支える
SICEの技術

会場C [1007会議室]

T-C1 特定非営利活動法人 日本フィールドバス協会
FOUNDATIONフィールドバスの最新動向

T-C2 エンドレスハウザージャパン(株)
エンドレスハウザーが提案するプラント・アセット・
マネージメント

T-C3 横河電機(株)
CENTUM VP 新機能とサービスの融合と将来

T-C4 横河電機(株)
拡張現実技術をプラントに応用した運転・保守支援の
新たな動向

会場D [1008会議室]

T-D1 (株)東芝
ミドル市場向け産業用コンピュータFA1100の紹介

T-D2 (株)東芝
汎用レーザー厚さ計TOSGAGE-LDGPの紹介とその応用

11月1日(木)

会場A [1005会議室]

T-A9 (株)堀場製作所
必見！HORIBA製品で水質規制ライフサイクルコスト削減

T-A10 日本エマソン(株)
WirelessHART (IEC62591)
- HART通信の相互運用性を継承した国際標準規格

T-A11 (株)堀場製作所
必見！新エネルギー開発に貢献するHORIBA分析装置

T-A12 一般社団法人 JPCERTコーディネーションセンター
制御システムセキュリティ動向とJPCERT/CC

T-A13 タケモトデンキ(株)
安定した電力供給を支える デマンド電力の計測とその制御

T-A14 神港テクノス(株)
＜新製品紹介＞ 光沢のある金属表面の非接触式温度計測

T-A15 (株)堀場製作所
必見！ポータブルガス分析計 (PG-300) のすべて

T-A16 島津システムソリューションズ(株)
液体流量計のトレーサビリティ

T-A17 菊水電子工業(株)
待機電力の精密測定ノウハウ ～微小電力を正しく測るには～

会場B [1006会議室]

T-B6 アズビル(株)
製造現場におけるBCP
～インテリジェント地震緊急停止システム～

T-B7 アンリツ(株)
メタンガスの保安向上と環境計測を支える
レーザーメタン検知器

T-B8 ISA100 Wireless Compliance Institute
工業用無線ISA100の最新動向

T-B9 一般社団法人 JPCERTコーディネーションセンター
制御システムセキュリティ向上に向けた取組み
～ J-CLICS公開までの軌跡～

T-B10 オムロン(株)
プライベートセミナー

T-B11 オムロン(株)
プライベートセミナー

会場C [1007会議室]

T-C5 横河メータ&インスツルメンツ(株)
省エネ製品開発における測定の課題とその解決

T-C6 エンドレスハウザージャパン(株)
メモセンス技術によるpH計作業効率化の実績と導入コスト削減

T-C7 横河電機(株)
生産制御システムのセキュリティポリシーと対策事例

T-C8 アズビル(株)
操業改善ソリューション ～イベントデータを活用した現場型課題解決手法のご紹介～

T-C9 特定非営利活動法人 日本フィールドバス協会
FOUNDATIONフィールドバスの最新技術動向

T-C10 公益社団法人 大分県産業創造機構
IE4クラス高効率モータの開発のためのベクトル磁気測定技術

11月2日(金)

会場A [1005会議室]		会場B [1006会議室]	
T-A18 (株)エヌエフ回路設計ブロック エネルギーマネジメントシステム向け電力制御装置の紹介		T-B12 横河電機(株) レーザガス分析計と省エネルギー事例	
T-A19 東亜ディーケーケー(株) 高感度・長距離対応「レーザ走査式油膜検知器」		T-B13 アンリツ(株) 複雑化する最近の光線路と測定技術	
T-A20 (株)堀場製作所 必見！中国の環境計測と最新規制情報		T-B14 (株)チノー 現場オペレータのためのPID調整技術の紹介	
T-A21 岩通計測(株) インバータ系のパワエレ測定		T-B15 (株)チノー 熱画像計測の新しい展開	
T-A22 タケモトデンキ(株) 安定した電力供給を支えるデマンド電力の計測とその制御		T-B16 横河電機(株) 無線フィールド機器の信頼性向上と大規模化対応	
T-A23 日本エマソン(株) スマートワイヤレスとそのアプリケーション事例の紹介		T-B17 日置電機(株) HIOKIが提案する「新」多チャンネル計測システム	
T-A24 新コスモス電機(株) ガスセンサの環境分野への応用		T-B18 アンリツ(株) スペクトラムアナライザの基礎知識	
T-A25 島津システムソリューションズ(株) DCSの進化と継承 ～ METRIS-G4の現場可視化～		T-B19 ISA100 Wireless Compliance Institute Future Factoryの実現に向けて ～ ISA100WCIの取り組み～	
T-A26 島津システムソリューションズ(株) プライベートセミナー			
会場C [1007会議室]			
T-C11 (株)堀場製作所 解決！メーカーが伝授する実験用から工業用までpH電極のすべて			
T-C12 (株)堀場製作所 解決！メーカーが伝授するCOD自動測定装置のメンテナンス			
T-C13 富士電機(株) スマート社会を実現する、富士電機 Innovating Energy Technology			
T-C14 特定非営利活動法人 日本フィールドバス協会 よくわかるFOUNDATIONフィールドバス			
T-C15 アズビル(株) Alarm Management 導入事例「ヒューマンファクターとグローバル化への対応」			
会場D [1008会議室]			
T-D3 アズビル(株) 制御システムサイバーセキュリティとBCP			
会場E [1009会議室]			
JEMIMA 学生向け座学（2テーマ）			

JEMIMA ステージ

10月31日(水)～11月2日(金)

社会のあらゆる場面で私たちの暮らしを支えている計測と制御。その活躍を「現場」からレポートした。

- Stage 1** 都市ガス供給の安全を支えるガス検知技術
- Stage 2** 夏の電力不足を乗り切った！節電を支えたデマンド制御
- Stage 3** テレビをきれいに！地デジ化を支える計測マン
- Stage 4** 食の安全を支える放射線計測技術
- Stage 5** 上水の安全、下水排水の環境負荷低減を支える計測技術
- Stage 6** 再生可能エネルギーの利用推進を支える計測技術
- Stage 7** ミッション：天然ガスを安全に輸送せよ！その時現場では…

JEMIMA 委員会セミナー

10月31日(水)

会場D [1008会議室] 11:00 ~ 11:50

J-1

920MHz帯各種無線テレメータ
測定方法の最新情報講師： アンリツ株式会社
計測器営業本部 営業推進部 課長
藤井 誠 氏

周波数再編により新しく割り当てられた920MHz帯の各種無線機器の製品開発が活発である。
本セミナーでは、シグナルアナライザや信号発生器を用いた同無線機の評価方法を紹介する。

会場E [1009会議室] 15:30 ~ 16:20

J-2

計測制御分野フィールドバスに関する国際標準開発

講師： 株式会社 東芝 社会インフラシステム社 府中事業所
計測制御機器部 制御機器開発担当／参事
柴田 浩司 氏株式会社 東芝 社会インフラシステム社 府中事業所
計測制御機器部／参事
塩原 康壽 氏株式会社 安川電機 モーションコントロール事業部
事業企画部 ネットワーク戦略推進チーム
田中 毅 氏

すべての分野で看過できないのが「国際標準化」である。「工業用フィールドバス」の分野において、経済産業省からの受託事業を実施して国際標準化活動を行っている。3期9年にわたる活動での取り組みとそこで得たもの、及び今後の展開について紹介する。

11月1日(木)

会場D [1008会議室] 13:00 ~ 14:40

J-3

広がる校正サービス2012
～ JCSSへの要望と提案～講師： 経済産業省 産業技術環境局 知的基盤課長
藪内 雅幸 氏パナソニック(株) 解析センター
信頼性サポートグループ 計測計量チーム
山中 政来 氏JEMIMA校正事業推進委員会
勝田 敏江 氏

JCSSが導入されてから20年近くになるが、多様化する電気計測器への対応など未整備な部分がある。本セミナーを通して、JCSSへの要望など提案する。

会場D [1008会議室] 15:00 ~ 16:40

J-4

1. 工業用無線の電波伝搬と共存管理

講師： 横河電機株式会社
IA-MK本部事業企画部テクノロジーMK室／マネージャー
長谷川 敏 氏富士電機株式会社
技術開発本部 製品技術研究所 制御技術開発センター
制御システム開発部 ネットワーク技術グループ
日向 一人 氏横河電機株式会社
IA-MK本部事業企画部テクノロジーMK室
林 尚典 氏

2. 事象事例に学ぶ機能安全の必要性

講師： 株式会社東芝
計測制御機器部 制御機器開発担当／主務
川本 淳一 氏

1. サイトプランニング、エンジニアリング時に必要な電波伝搬の基礎データの測定報告と無線共存管理に関する国際標準化動向の紹介。
2. 事象事例から「機能安全」の必要性を説き、機能安全とは何かについて基本に立ち返り最新動向や各分野の状況を交えて紹介する。

11月2日(金)

会場E [1009会議室] 13:30 ~ 15:30

J-5

EUに始まり世界に広がる、
計測・制御機器を取り巻く環境関連規制講師： 岩通計測株式会社
JEMIMA 環境グリーン委員会 委員長
酒井 聡 氏株式会社堀場製作所
JEMIMA 環境グリーン委員会 副委員長
小山 師真 氏株式会社堀場製作所
JEMIMA 環境グリーン委員会 副委員長／ブラッセル駐在
中井 章仁 氏

当委員会ブラッセル駐在の中井副委員長によるEU域内の現地最新情勢のご紹介や、EU-RoHS2並びに中国RoHS改正を中心に、当委員会で調査・対応した世界の環境関連規制について紹介する。

会場D [1008会議室] 16:00 ~ 16:50

J-6

電磁波を用いた被災家屋の
非破壊劣化調査法の可能性調査講師： 戦略的基盤技術検討委員会 独立行政法人
情報通信研究機構
電磁波計測研究所 研究マネージャー
福永 香 氏

電磁波による建造物の非破壊調査の有効性を検証するため、マイクロ波、ミリ波、テラヘルツ波を用いて、被災家屋の調査をおこなった。その結果、マイクロ波はコンクリート建造物、ミリ波はタイル壁や木造建造物の調査に有効であることなどが明らかになった。

プロモーション活動

1. ダイレクトメール、その他印刷物

(1) 出展者配布

DM (案内状)、ポスター、名刺貼付シール

(2) 主催者発送

「計測展2010 OSAKA」、「計測展2011 TOKYO」来場者リストによるDM発送

2. 告知広告

〈雑誌・新聞 記事掲載〉

日刊工業新聞、電波新聞、日本計量新報、電材流通新聞、環境新聞、信濃新聞、計測技術、見本市展示会通信、JEMIMA会報、Tech-on!

3. 公式Webサイト

展示会の公式サイトを開設し広く情報を公開し、事前登録を受け付けるとともに、出展者のホームページへのリンクを設定した。

○日本電気計測器工業会 <http://www.jemima.or.jp>

4. インターネット、メール配信

・前回来場者向けメール配信

「計測展2010 OSAKA」、「計測展2011 TOKYO」にメール配信を行い、開催告知と来場の促進を実施。

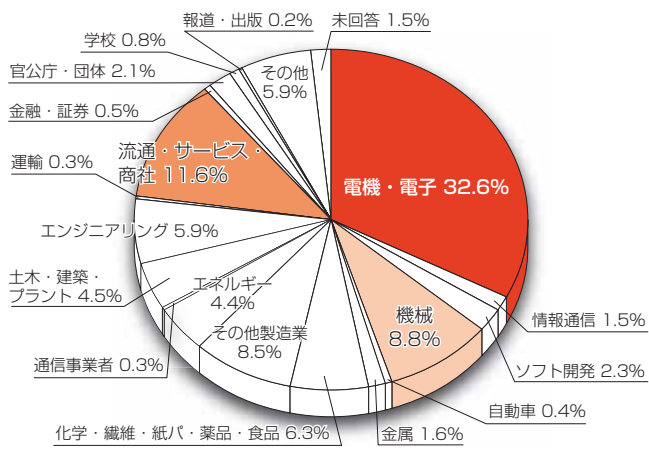
5. 来場者向け発行物

公式ガイドブック



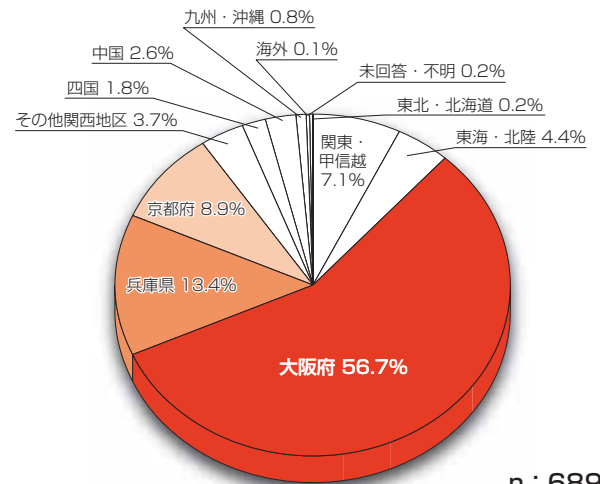
来場者アンケート結果

Q. あなたが所属する会社の業種についてお答え下さい。
(ひとつに○)



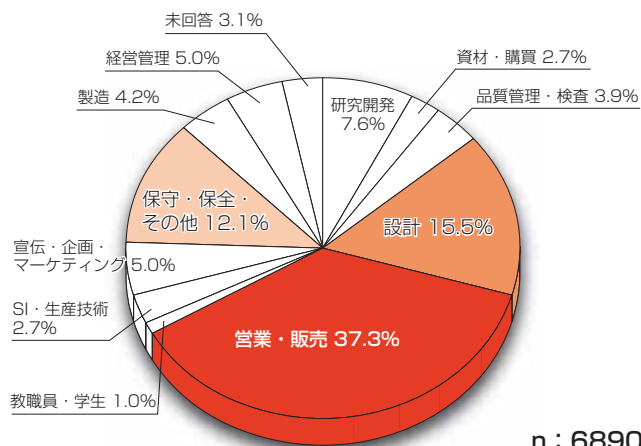
n : 6890

Q. あなたの勤務地についてお答え下さい。(ひとつに○)



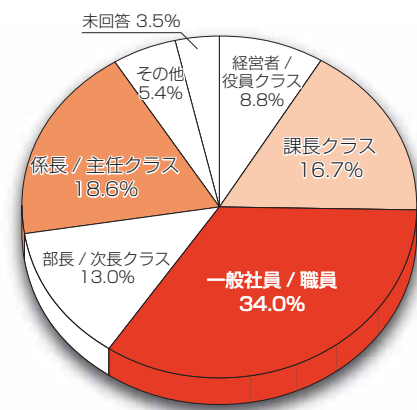
n : 6890

Q. あなたの職種についてお答え下さい。(ひとつに○)



n : 6890

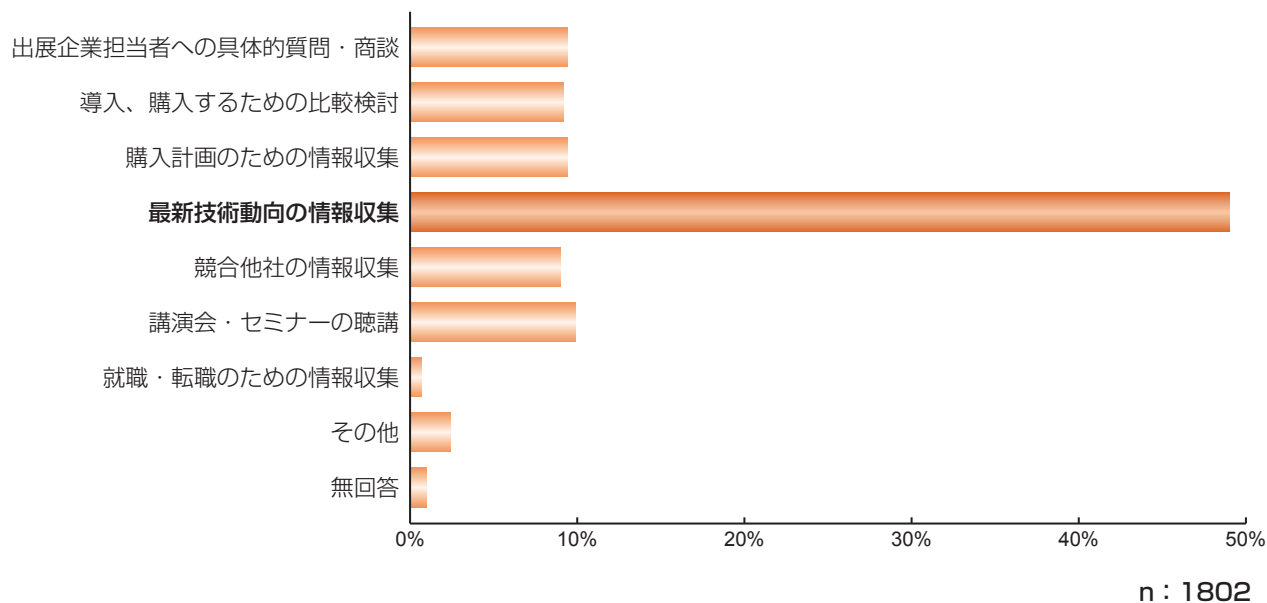
Q. あなたの役職についてお答え下さい。(ひとつに○)



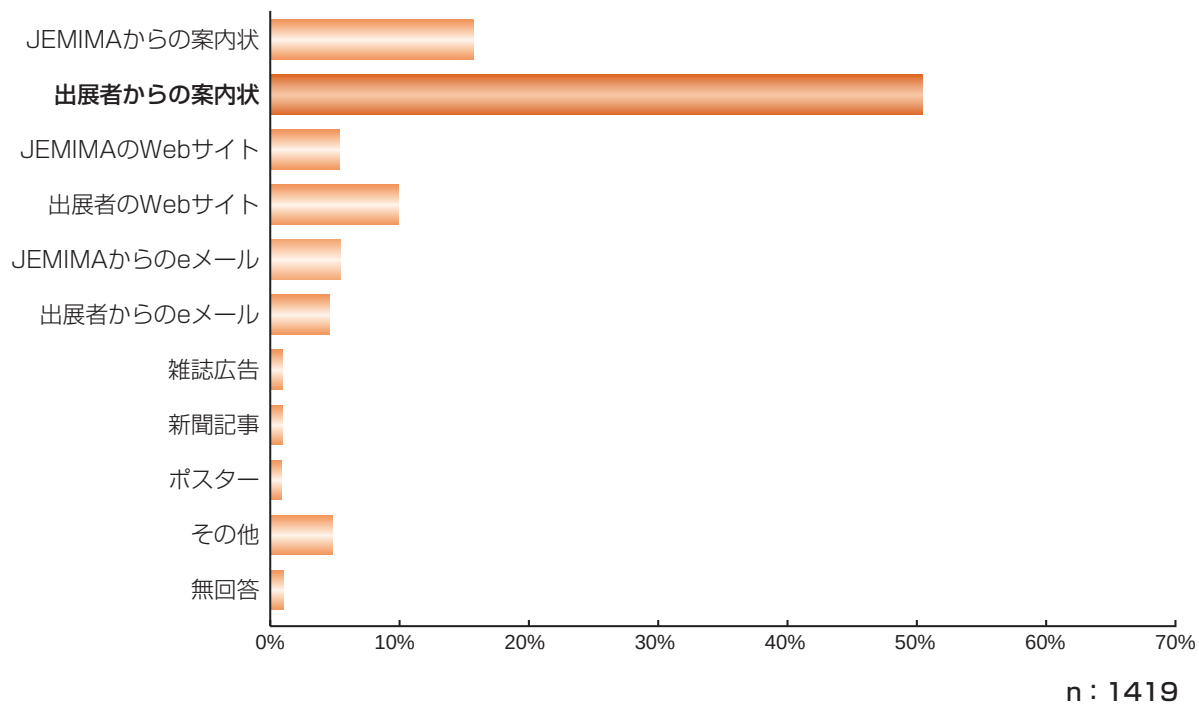
n : 6890

来場者等登録データより

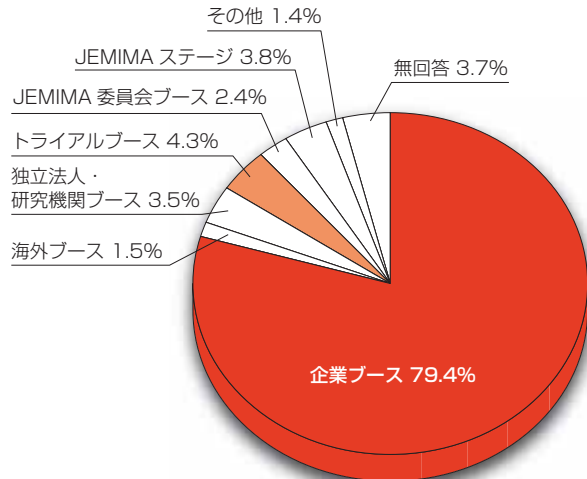
Q. あなたが「計測展 2012 OSAKA」に来場した目的で近いものはどれですか。(いくつでも)



Q. あなたは「計測展 2012 OSAKA」に関する情報を次のどれから入手しましたか。(いくつでも)

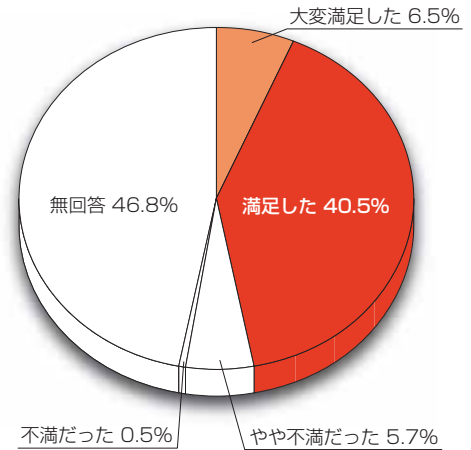


Q. 「計測展2012 OSAKA」であなたの役に立ったブースはありましたか。(いくつでも)



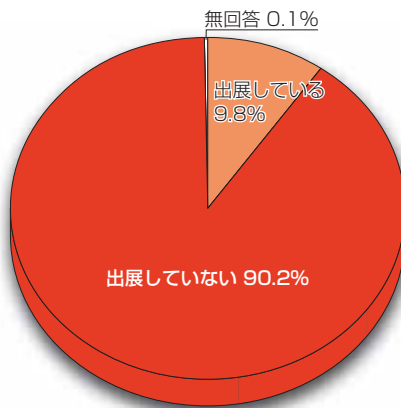
n : 1411

Q. 「計測展2012 OSAKA」の講演・セミナー・カンファレンスの内容に、あなたはどの程度満足しましたか。(ひとつに○)



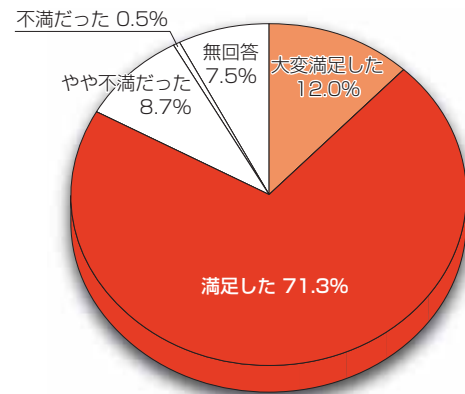
n : 1282

Q. あなたの企業は「計測展2012 OSAKA」にご出展されていますか。(ひとつに○)



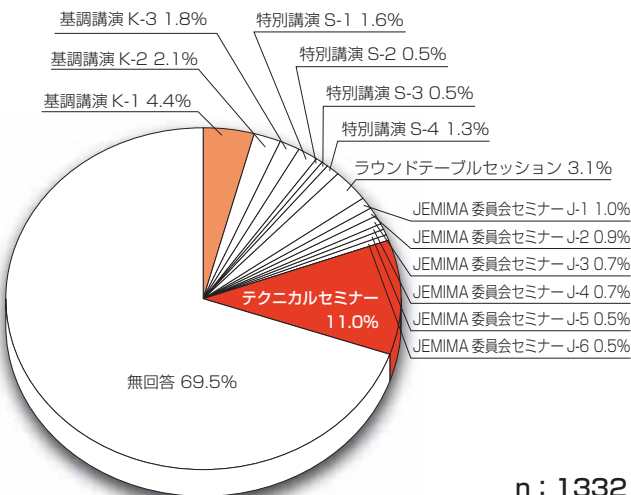
n : 1282

Q. 「計測展2012 OSAKA」の展示内容に、あなたはどの程度満足しましたか。(ひとつに○)



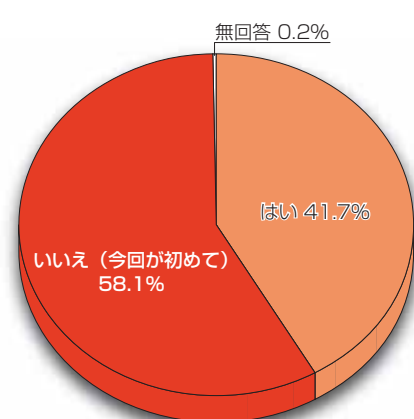
n : 1282

Q. 「計測展2012 OSAKA」で役に立った講演・セミナー・カンファレンスがありましたか。(いくつでも)



n : 1332

Q. 過去に「計測展 OSAKA」に来場されたことがありますか。(ひとつに○)

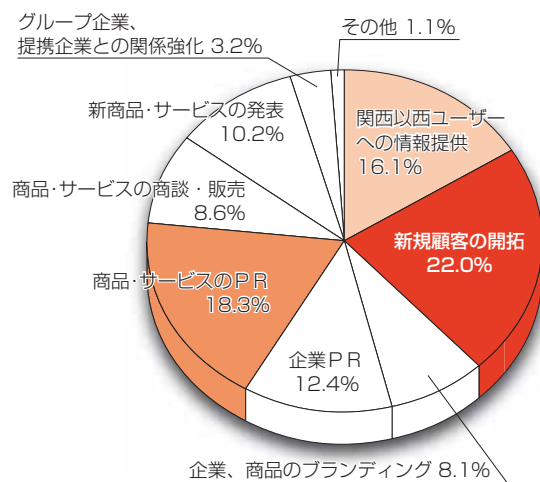


n : 1282

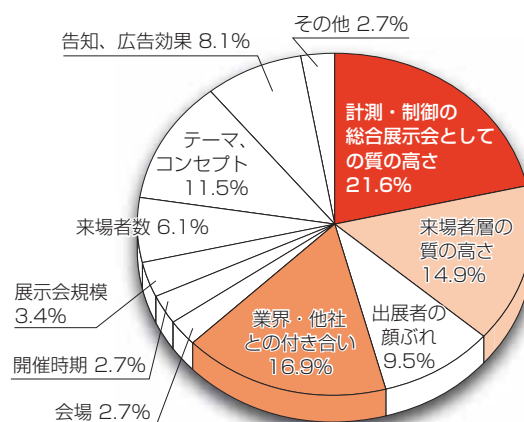
展示会場内に「アンケートコーナー」を設置。調査票を配付し、回収。

出展者アンケート結果

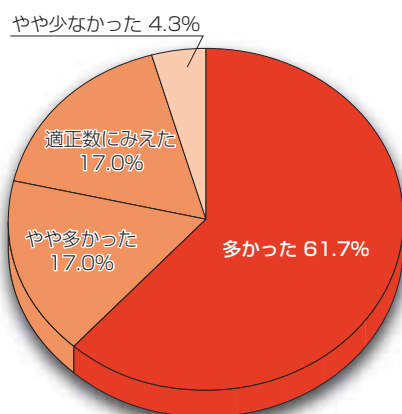
Q. 今回の「計測展2012 OSAKA」への出展目的は何ですか。
(いくつでも)



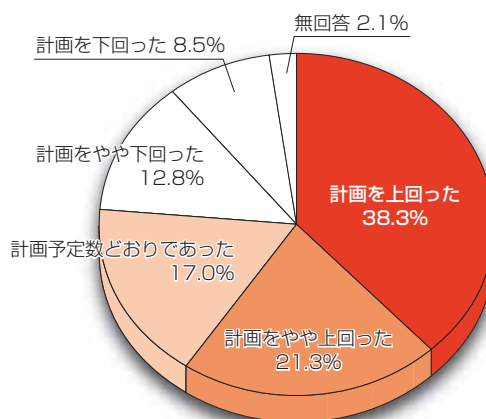
Q. 今回の「計測展2012 OSAKA」への出展魅力は何ですか。
(いくつでも)



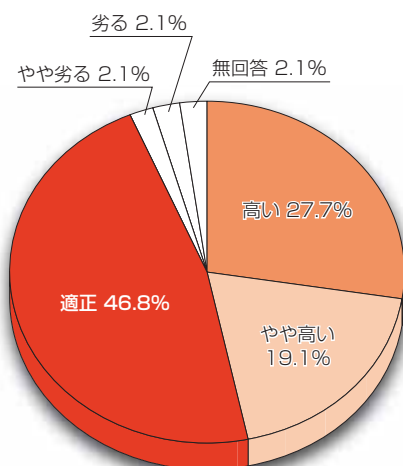
Q. 以下の項目についてご感想をお聞かせください。(それぞれひとつに)



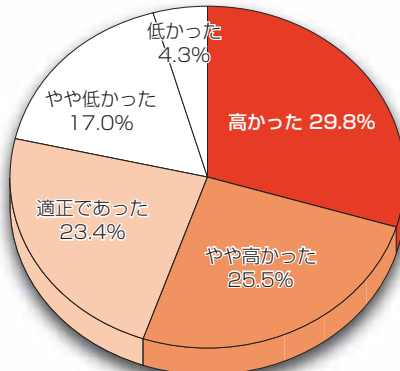
会場全体の来場者数



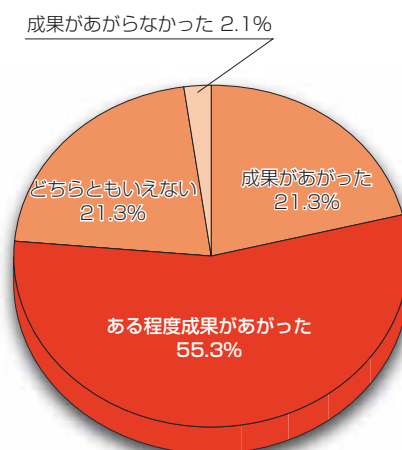
貴社ブースへの来客数



来場者の質

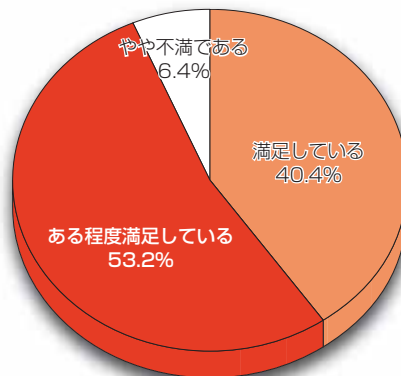


来場者から貴社への関心

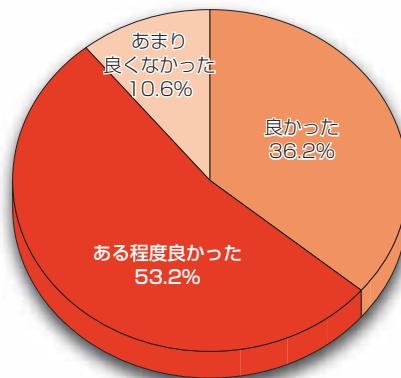


出展成果

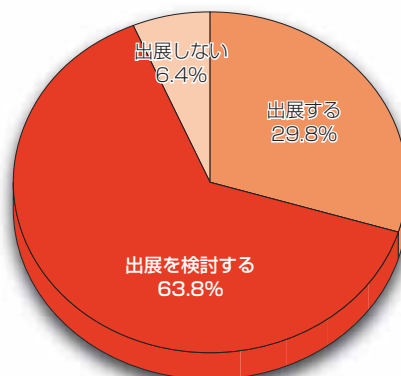
Q. 今回の「計測展2012 OSAKA」への出展に関する全体的な満足度をお聞かせください。



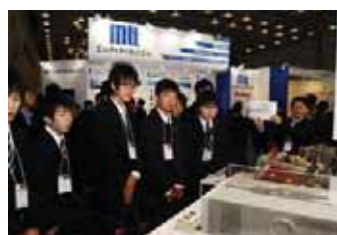
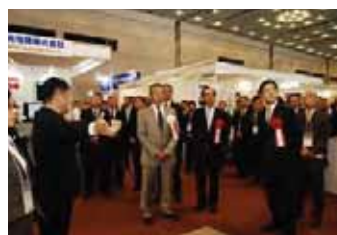
Q. 今回の企画運営(会場のブース、施設の配置や案内図、案内表示)についての評価をお聞かせください。



Q. 次回の「計測展2014 OSAKA」には出展しますか。



会期終了後の出展者アンケート調査結果(n : 47)



[本 部] 計測会館
 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町2-15-12
 TEL.03-3662-8181 FAX.03-3662-8180

[関西支部]
 〒530-0047 大阪市北区西天満6-8-7 電子会館
 TEL.06-6316-1741 FAX.06-6316-1751

www.jemima.or.jp